

# 岐阜県の

# プラスチック

岐阜県プラスチック工業組合会報

第41号

工組が活路開拓調査事業に全力あげる

県が地場産業振興へ新制度実施

初の製品開発スクール開く(プラスチックデザイン協会)

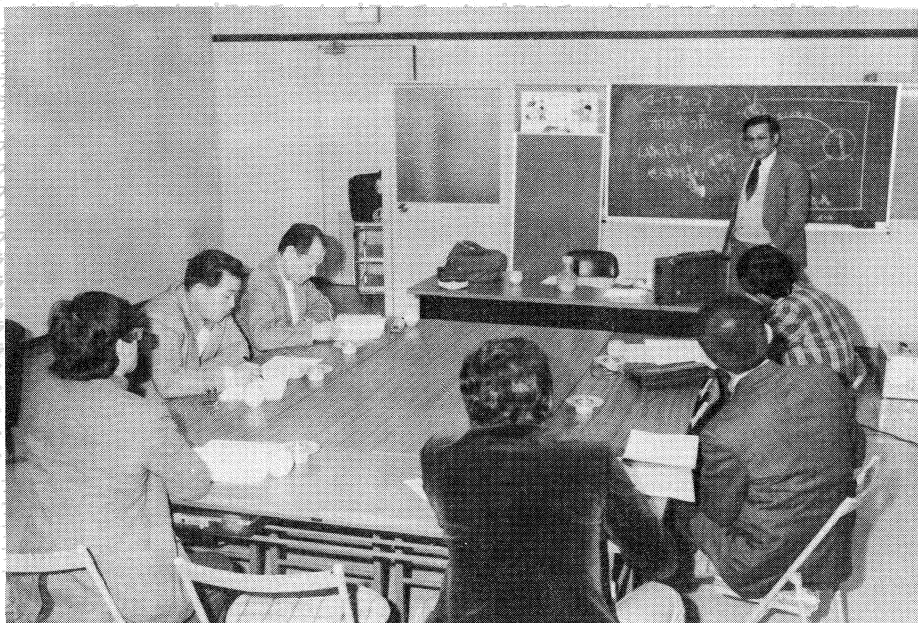
日精が新製品の实演・展示と講演

デザインのすすめ・デザイン情報カード

組合員の工場訪問(多喜プラスチック)

事務局だより

写真は第一回製品開発スクールの講習風景



# 組合事業の活性化めざす

## 活路開拓事業の指定に全力あげる

### 実態調査、海外調査団の派遣など

当工業組合は、さる1月に開いた理事会で中央会が国、県の助成を得て実施する『活路開拓調査指導事業』の56年度対象組合として指定を受けるよう全力をあげることを決めた。この活路開拓調査事業は業界や企業を取り巻く環境の変化に対応し、新たな活路を見い出そうという調査事業で、プラスチック工業組合が指定を受けることができれば、工組創立いらいの大きかりな事業と取り組むことになる。

#### 県内15業界が活路開拓を実施

岐阜県中小企業団体中央会が、国と県の補助金を得て実施する活路開拓調査事業は、53年度から毎年5業界が指定を受けて実施してきた。53年度は陶磁器業界など5つの業界が、また、54年度は既製服業界など5業界が指定を受けてそれぞれのテーマのもとに活路開拓調査を行い成果をえた。

さらに55年度は木材、寒天、鋳物、家具、米菓の5業界が指定を受け、現在、調査事業の総まとめをしているところで、この3月中に事業を終わる予定である。

#### 指定後は補助金で事業を実施

指定を受けた合計15業界は、いずれも350万円の補助金を得て、最低360万円から最高716万円の事業予算を組んで目的の調査を実施してきた。中央会では『これら活路開拓事業は業界が生き抜く新たな活路を見い出せるばかりか、事業の実施によって組合組織の活性が図

れる』として、近く56年度の指定対象組合の選定に入るという。

#### 調査は工業部品生産の方向探る

当工業組合が、この事業の指定を受け、活路開拓調査事業と取り組む方針を決めた理由は、あいついだオイルショックで樹脂原料が高騰に高騰を続け、プラスチック加工業界は『原料高の製品安』に陥り、多くの加工業者は経営の危機に直面している。

しかも、岐阜県下のプラスチック加工業界は、雑貨品の成形加工業者が比較的多く、こんご業界が岐阜県の六大産業の一つとして産地形態を保っていくには、付加価値の高い成形加工品の生産と取り組まねばならなくなった。

現在、考えられる産地業界の新方向として考えられるのは、工業部品など付加価値の高い商品への転換である。ところが付加価値の高い商品といっても種々雑多で、岐阜県の産地業者、とくに中小企業者はどのような商品や部品を、どのような方法で生産してよいかわからず、一

部企業を除いて手をこまねいているのが実情である。

### 活路見出しビジョンの作成へ

県内業界の一部が実施する付加価値の高い商品や工業部品の生産というのは、独自の商品を開発したり、自動車産業の一角に食い込み、自動車部品の下請生産でかなり成功していることである。岐阜県のプラスチック業界がいま新たな活路を探り出さねばならぬのは、こうした新商品や工業部品をどのように見出し、商品化しうかにユーザーの親企業へ供給するかにある。

このほど開いた工業組合理事会で検討されたことは、活路開拓調査事業を通じて産地業者が取り組むべき高付加価値商品の生産方向を早く探り出し、下請企業の体質を改善することである。

この事業の対象組合に指定されれば、県内及国内産地の実態調査、先進工業国の産地調査や市場の動向調査によって、新活路を見出し、同時に業界の生きるべきビジョンを作成する方針である。

事業の成否は対象組合に指定されることにあるので、大松理事長を先頭に理事会あげて指定を受けるよう全力をあげるようになった。

## 将来総合見本市の開催か

岐阜県は今年度から地場産業を振興する事業として『地場産業振興特別対策事業』を実施している。これは情報収集や新製品の研究開発、宣伝や販路の開拓などの事業を展開する組合に助成してくれるもの。前記の活路開拓調査事業と並んで、工組の活性化に大きなキメ手になるとみられる事業といえる。このためさきに開かれた理事会で、当工組が将来、指定を受けることの必要性について話合われた。

地場産業振興特別対策事業は、県の商工行政では初めての県単補助事業で、地域に根ざした産業を業種別に育成するのがねらい。対象事業

は①情報の収集、提供②新技術、新製品の研究開発③宣伝、販路の開拓④先進技術・製品の導入、企業化⑤原材料の確保⑥人材の育成⑦関連産業等との交流⑧事業転換⑨産地イメージの形成、確立—など9つのテーマのうち二つ以上を選択実施することが義務づけられている。

事業の実施期間は指定を受けて3年間で、初年度は振興計画の策定、2・3年度は具体的な事業を実施する。補助額は3年間で最高900万円の事業について450万円までの県費の助成を受けることができ、組合としては、総会見本市の開催を検討することになっている。

**三菱化成のエンジニアリング プラスチックス**

ナイロン樹脂 <b>NOVAMID</b> <small>ノバミッド</small>	ポリカーボネート樹脂 <b>NOVAREX</b> <sup>®</sup> <small>ノバレックス</small>	PBT樹脂 <b>NOVADUR</b> <small>ノバドール</small>
中低圧ポリエチレン <b>NOVATEC</b>	高圧ポリエチレン <b>NOVATEC-L</b>	

 **三菱化成工業株式会社**  
本社：東京都千代田区丸の内2-5-2・三菱ビル  
電話 03(283)6111(大代表) (〒100)

# 初の製品開発スクール開く 発想からモデル製作まで

岐阜県プラスチックデザイン協会は、県工業技術センターの援助指導をえて『第1回製品開発スクール』を開講した。自社開発製品の開拓が急務といわれる中で、製品の開発をどのように、どうして行ったら良い商品が作り出せるかという企業者の要望に応えたもので、第1回は受講者8人でスタートした。



この製品開発スクールはプラスチックデザイン協会が初めて試みるデザインスクールで、テーマは『80年代の商品開発を考える』。企業開発にたずさわる第一線の技術者を育てようとするもので、著名講師の特別指導のもとに理論からモデル製作実習まで一貫指導するものである。開講したのはさる1月8日で、6月25日までの延べ18日間(月3回の木曜日の午後5時から)を開講日にしている。

スクールでは毎週木曜の夜、著名講師から特訓を受ける

すでに2カ月目に入って、情報の収集、分類整理、アイデア発想法など基礎講習を終わったが、こんごスケッチ、図面、モデル製作などと具体的な作業について実習を進め、6月25日には修了式が行われ、終了証書が授与される。なお、会場は基礎講習が工組事務局、モデル製作実習が県工業技術センターの工業デザイン室で実施する。

## 各地で集団技術指導懇談開く

岐阜県は地域産業振興の一環として、移動試験場方式による地域での集団技術指導懇談会を



地域の業者を招いて開いた集団技術指導懇談

各地で実施した。これは現在ある試験場から遠隔地の中小企業の方々に技術相談や経営指導を行っているもので、対象業種はプラスチック、紙・紙加工、機械金属、木工の4業種が対象となった。プラスチックの場合は、昨年12月に高富で開いたのを皮切りに、2月13日の美濃市まで6回開いた。

懇談会は各会場とも約20人参加①業界の将来②受注の確保③親企業との問題④技術者養成⑤組織化と工組への加入一などについて工業技術センターや工組関係者と懇談した。当工組は各地区の生の声をお聞きし、実状にそった組織化のお手伝をする方針。

## 新機種を実演展示 日精が愛知県産貿館で

石油の高価格時代に突入したことからプラスチック成形は、より一層の高品質、精密安定成形、コストダウンが要求されている。このため日精樹脂工業では2月4・5の2日間愛知県産貿館で『日精フェア・セミナー』を開いた。

会場は広大な本館第一展示場で、省電力高速精密射出成形機（FS150-250SE型）全自動精密インサート成形機（TSD30-30P型）新型ベント射出成形機（FSV-75型）の最新機種が実演、展示されていた。会場で関心と呼んだのは①成形品により使用電力の40～70%も省エネ化をはかれるというFS-S Eシリーズ②成形前に材料樹脂を乾燥しなくてもよいベント射出機—など。技術相談コーナーでは、やはりテーマの『高品質』『精密安定成形』『コストダウン』の3項目についての相談が多かった。

### 島社長が『業界の課題』で講演

また、フェアと並んでセミナーも開かれ、島喜治日精樹脂工業社長が『国際社会における今

後のプラスチック業界』について講演したのをはじめ同社の技術者が『射出成形機の消費電力の実態と省エネ対策成形機について』や『エンブラ成形の不良低減と歩止り向上のためのベント成形』について技術的な説明を行った。

こうした講演の中で、島社長は『石油ショック以後は、安いプラスチックから年々高価になる貴重なプラスチックに変貌した。もはや量の増大による利益を望むことはむずかしい。こんど原料価格を製品に転嫁し続けるには①プラスチックだけがもつ特質や優位性を十分に生かしたものを②他の製品より合理化され、生産性が高



くて品質が良いもの③より精密な製品で高付加価値を生み出すもの—などに変換して、新しい活路を求めなければならない』と話し、参観者に深い感銘を与えた。

（写真は愛知県産貿館で開いた日精フェア）

# 出光

## の石油化学製品

◎取扱品目 中低压ポリエチレン  
ポリスチレン ポリプロピレン  
高圧ポリエチレン カルプ®  
ポリカーボネート



### 出光石油化学株式会社

東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル) 〒100 ☎ 03-213-3111  
名古屋営業所 名古屋市中区錦1-17-13(名興ビル) 〒460 ☎052-231-8611



## デザイン情報カード No.6

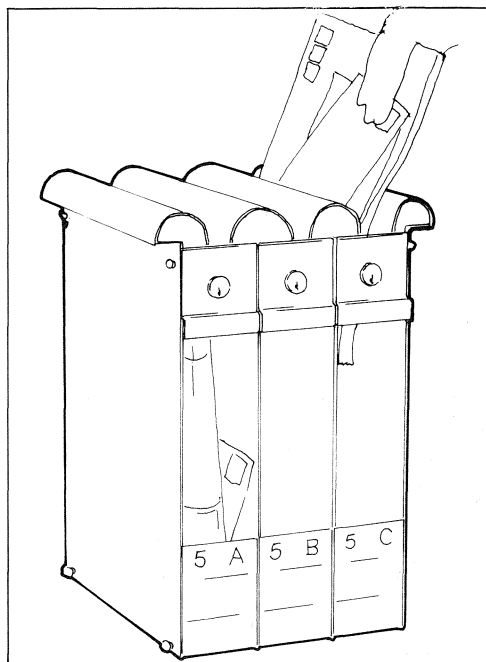
中小企業事業団・中小企業情報センター提供

### ポストボックス<07-0684>

おぎなりにできないポストボックス。個人住宅、あるいは集合住宅を見ても「これはいい!!」と言える郵便受けはまず見かけられない。

この事例は、スペイン製のモノで、エナメル焼付塗装のブック調の箱である。コンパクトでありながら十分なスペースをもち、正面は透明なアクリルでルームナンバーのラベルが付けられるシンプルな集合住宅用の郵便受で、しかも室数に合わせてユニットを自由に連結させていくことができる。

これらの外国製品をそのまま日本の市場に出すにはまだ少し問題があるが、今後、さらに日本の生活システム、野外での耐久性を含めデザインを考えてほしい分野である。



### ポリエチレン製サイクリング用水筒

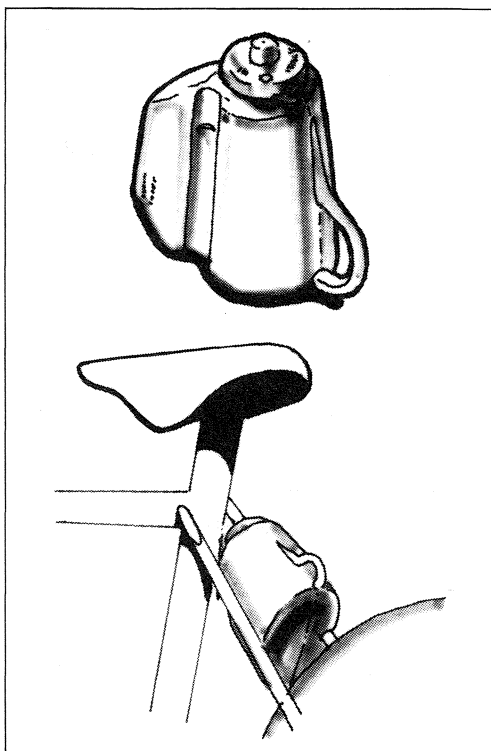
#### <07-0713>

自転車は、その大部分がパイプで構成されたいわば隙間だらけの構造体である。このような隙間をうまく生かし、その固定もパイプを利用しているのがこの自転車用水筒である。

従来のものは取付部品が必要であったが、これはポリプロピレンの材質的弾性と、成形の自由さを生かしてパイプの隙間に押し込んで固定するというものがある。

これは、パイプを「ポジ」としてとらえ、「ネガ」的存在をその隙間に着眼し利用したところにこの商品のユニークさがある。

我々の身のまわりにはこうした補助的製品(オプション)は多くあるが、製品の大半は取付部品を持った「ポジ」的製品で、このような「ネガ」的発想の製品はまだ数少ない。



## デザイン情報カード No.6

中小企業事業団・中小企業情報センター提供

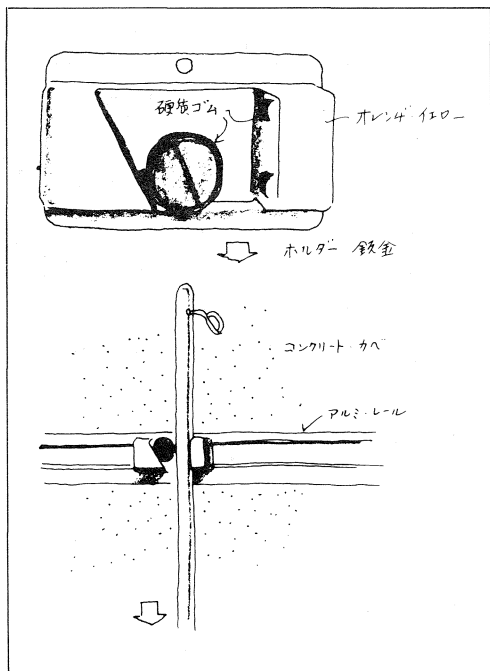
庭園用具の種類は非常に多く、くま手、芝刈機、噴霧機、竹ボウキ、ゴミとりなどの比較的大型のものから、花壇用などの小さいものまで色々ある。しかしこれらの用具を収納させるシステムは以外に少なく、納屋の一隅や外壁に立てかけたりするだけで乱雑なのが常である。

これらの事例はすべて西ドイツの製品である。

### 庭園用具用フック<07-0707>

用具の自重によって円板のストッパーが働き自動的に保持する仕組みになっている。

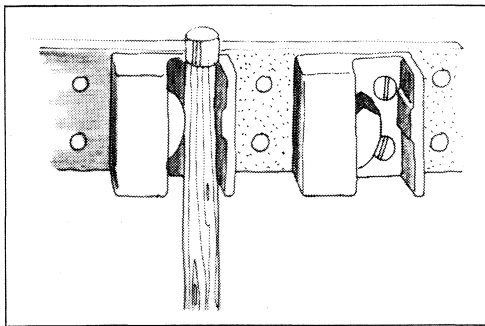
これは単独でも壁面にとりつけられるが、これを取りつけて自由にスライドさせるレールも用意されており、イラストに示したハンガーの他に用具に合った各種のハンガーがある。



### クリップボード<07-0709>

これも道具の自重を利用して保持する方式である。

各種フック、メモ台、スパナ掛け、ビスや釘の整理箱、その他いろいろの小物が揃えられている。

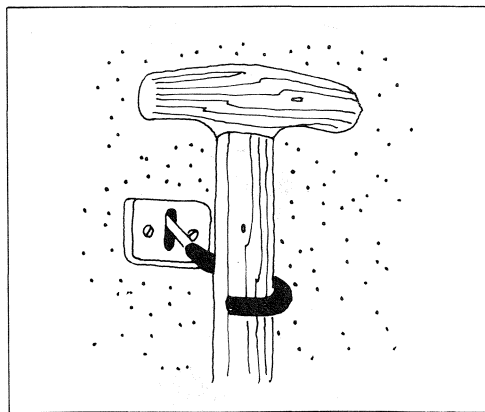


### 園芸用具用クリップ<07-0708>

上下に首を振るクリップタイプのモノ。

これも用具の自重によって保持される仕掛けになっており、道具の柄の長さに左右されず、自由にどの位置でも保持できる利点がある。

裏方的存在であるだけにカラフルなモノを。

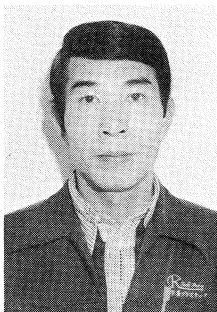


<注> 情報としてとりあげられている商品例の意匠権の尊重、保護については、格別の配慮を必要とする。情報源：中小企業事業団、中小企業情報センター発行。日本産業デザイン振興会、デザイン情報センター協力によるデザイン情報カードより。



## 地元の産業と直結して発展

### 多喜プラスチック



**高井多喜男社長** ここに6オンス3台、35オンス2台が稼動している。また、武芸川町には武芸工場を配し、10オンスと6オンスが活躍。いずれも射出成形機で、水栓バルブやシャワーのハンドルを主力生産している。

### 水栓ハンドルの樹脂化が当る

高井さんがプラスチックの成形加工を職業とするようになったのは昭和35年。東京の工業部品メーカー、日本プラスチック工業へ初就職した時。ここで5年間、みっちり技術を習得、故郷の美山へUターンした。

39年5月、家を改造して待望の2オンスの成形機が入り、兄さんのいる日置ビニール（高井日出夫氏で現在社長）の下請工場となり、空気栓やビニールボタンなど小物雑貨品をつくった。こうした地道な努力が実って、5年後には約160平方メートルの成形工場を建て、同時に6オンスの新型成形機を入れた。

この時、新しく成形し始めたのが、地場産業の水栓バルブ用のハンドルをプラスチック化したこと。それまでバルブのハンドルにはダイキ

ャスト製品であった。たまたまヨーロッパでプラスチック化されていることを知った高井さんは、熱や寒さに強く、キズが付かず、美しいという三拍子そろったアクリル樹脂を活用、ハンドルを成形した。これがみごとに当たり、地元、水栓メーカーからの注文を一手に引き受けた。

### 新商品の市販にも将来かける

47年には、さらにシャワーのハンドルをABSや玉虫色に光る美しいメタマーブル樹脂を使って生産した。武芸工場はこうした新しい需要をこなすために新設した工場である。

受注している水栓バルブメーカーは、全国13社。半数は地元有力バルブメーカーで、自社2工場と専属の下請9工場で消化している。



高井さんは『工場を堅実に経営できるのは、やはり美山の地場産業とうまく直結できたから..』と述懐する。また、バルブ産地は住宅産業不振の余波を受けて苦境にあるので、一日も早い回復を願わずにはおれないという。

新しく取り組むことは省エネタイプの『パールシャワー』。現在、30台の試作品をつくり、モニタリングしている。結果を待って、量産、一日も早く市販に入りたいという。

## 事務局だより

### 会員と事務局を結ぶページ

#### ◇豪雪のお見舞い申し上げます◇

記録的な豪雪で会員の皆さんには、被害はありませんでしたか。とくに豪雪地帯の会員の方々には、除雪、施設の損壊、操業への影響など直接、間接の被害はいかがでしたか。県はじめ各市町村では豪雪対策本部を設け雪害対策が進み、また、国、県では復旧への低利融資の道を開いてくれそうです。事務局ではこうした緊急時のために情報を集めていますが、何かありましたら申し付けて下さい。

#### ◇技術講演会にぜひ参加下さい◇

工組は中央会の指定を受け人材養成事業を種々実施してきましたが、2月27日午後1時から岐阜県工業技術センター講堂で、最後の事業として技術講演会を開きます。講演テーマは『県内のプラスチック業界の現状』で、とくに業界の実態や技術のレベルについて詳細な報告と分析についての結果を工業技術センターの関谷裕彦高分子科長が説明します。一人でも多く聴講して下さい。参加料はいりません。

#### ◇近代化資金の希望は当組合へ◇

岐阜県では56年度の設備近代化資金の申請

を受付け開始します。こうした公的資金を得て機械設備を導入される方は、まず、事務局へご連絡下さい。本申請は、設備近代化資金は5月1日、設備貸与は4月1日からですが、事務局へご連絡下されは、工組の推せん書を付けて申請手続をします。ご利用下さい。

### 杉山監事が永眠



当工組監事である杉山日出雄氏(52歳)は、かねて療養されていたが、1月6日永眠された。その告別式は同9日午後、岐阜市村里町の順勝

寺でしめやかに行われ、多数の関係者が焼香に訪ずれ、別れを惜しんだ。

### 岐阜県のプラスチック

1981 41号

昭和56年2月28日印刷

昭和56年3月1日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番1号  
(岐阜産業会館4階)

電話(0582)72-7173

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 大松幸栄



## 秋元産業株式会社

本社 東京都中央区八重洲5の7

名古屋営業所 名古屋市中村区米屋町2(埼玉ビル9F)

TEL <052> 582-5071

# 三菱油化株式会社

取締役社長 黒川久

本社 〒100 東京都千代田区丸の内2丁目5番2号(三菱ビル)  
TEL (03) 283-5689(代)  
名古屋支店 〒450 名古屋市中村区名駅3-28-12(大名古屋ビル5階)  
TEL (052) 563-5641(代)

ポリエチレン

**スミカセン**<sup>®</sup>

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂

**エバテート**<sup>®</sup>

ポリプロピレン

**住友ノーブレン**<sup>®</sup>

ポリスチレン樹脂

**エスブライト**

塩化ビニル樹脂

**スミリット**<sup>®</sup>

メタクリルシート

**スミペックス**<sup>®</sup>

メタクリル樹脂

**スミペックス-B**<sup>®</sup>

高密度ポリエチレン

**スミカセンハード**

熱可塑性エラストマー

**住友TPE**

合成ゴムSBR

**住友SBR**

合成ゴムEPR

**エスプレン**<sup>®</sup>

エチレン酢酸ビニル  
塩化ビニル共重合樹脂

**スミグラフト**<sup>®</sup>



## 住友化学工業株式会社

名古屋支店 〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)  
電話 <052> 201-7571

# 徳山ポリプロ

# 徳山OPフィルム

ポリプロピレン二軸延伸フィルム



## 徳山曹達株式会社

名古屋営業所

名古屋市中村区名駅四丁目27番23号(新名古屋ビル東館5階)  
電話(052)581-1581(代)



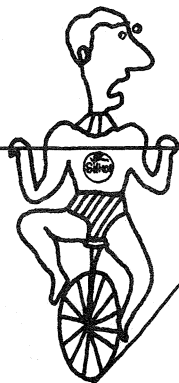
ニーズに**適確に**  
こたえることで  
未来の扉をひらきます

産業や生活のあらゆる分野で、便利さや快適さを生みだしているプラスチック。このすぐれた特性をコントロールして、繁栄のためによりよく活用しなければなりません。信越ポリマーはプラスチックを主な素材として、各種の製品を多角的に開発、生産、販売しています。一方、これらの製造や流通のプロセスにあたって、安全や環境の保全にも十分配慮し、時代と社会のニーズにこたえる新しい価値づくりを進めています。

新しい素材を価値あるものに

 **信越ポリマー**

名古屋支店 名古屋市中村区名駅4丁目27番23号 (新名古屋ビル)



信越シリコーンなら

では、**離れ技**。

### 信越シリコーン 離型剤

プラスチックの離型に最適な離型剤をご紹介します。

信越シリコーン離型剤。熱に強く、化学的に不活性ですから、型や成形材料を汚したり、傷めたりする心配がありません。不良品の発生を防ぐばかりか、清掃などの労力が軽減できますので、作業能率も一段と向上します。

〈特長〉

- 少量の塗布ですぐれた離型性。
- 耐熱性、撥水性にすぐれています。
- 化学的に不活性ですので、型を侵しません。
- 複雑な型にも使えます。
- 品種が豊富です。



**信越シリコーン**

信越化学 / 名古屋支店

名古屋市中村区名駅4-27-23(新名古屋ビル東館)

TEL(052) 581-6511(代)

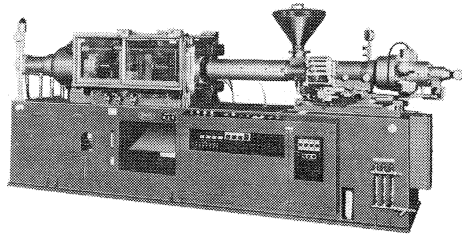


●80年代テーマ

# 時代を「射る」

## 高速精密汎用射出成形機 SEシリーズ

「高附加価値成形」と「省エネルギー」の両機能を兼ね備えた80年代の射出成形機です。省電力対応型の電子コントローラによって、射出・型締および油圧など各機構をデジタル制御。とりわけ油圧機構には新機軸の油圧回路SSEシステムにより、油圧の動力損失を最小限に抑えて、消費電力を大幅に減少させました。省電力効果は40～70%（製品により異なる）と極限を追求したものです。



**NISSEI** 1歩進んだ射出成形機をおとどける  
**日精樹脂工業株式会社**

本社・工場 長野 坂城町 電話 (02688) 2-3000 (大代表)  
営業所 東京 ☎ 03-357-7541 (代表) 大阪 ☎ (06) 693-7881 (代表)  
名古屋 ☎ 052-732-0261 (代表) 長野 ☎ 02689-2-3000 (代表)  
出張所 全国27ヶ所・海外サービスセンター24ヶ所 (21ヶ国)  
岐阜出張所 岐阜市西部4962-1(西ビル) ☎ (0582) 72-5952

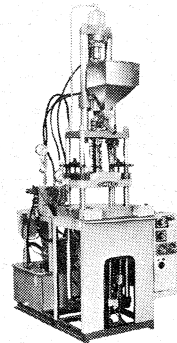
## さんじょうの射出成形機!!

精密工業部品、インサート成形に特に適した機械と定評を頂いております。

射出量5グラム(1/6オンス)より600グラム(20オンス)までの各機種を製作いたしておりますので、用途に合わせてご用命下さい。

### — 営業品目 —

- 熱可塑性樹脂及び熱硬化性樹脂、ゴム用射出成形機
- ロストワックス用ワックス成形機、ワックス溶融装置、保温装置
- 液状原料用射出成形機、注入機、混合脱泡機
- セラミック用射出成形機
- 当社射出成形機用金型
- その他関連装置



●カタログご希望の方は紙名ご記入の上お申込み下さい。  
—成形機・金型・関連装置を社内一貫生産している専門メーカー—

## 株式会社 山城精機製作所

本社	東京都板橋区弥生町32番地	TEL(03) 972-0561(代)
業務部・工場	埼玉県川口市中青木2丁目18-21	TEL(0482) 51-6156(代)
名古屋営業所	名古屋市中北区桶町味鋳所28番地	TEL(052) 901-5861番
大阪営業所	TEL(06) 443-3771(代)	八王子出張所 TEL(0426) 51-7144番
九州営業所	TEL(092) 571-2740番	小倉出張所 TEL(093) 471-1079番
前橋営業所	TEL(0272) 52-0733番	城南出張所 TEL(03) 776-2254番
広島出張所	TEL(0822) 32-2785番	沼津出張所 TEL(0559) 22-9610番

染料 }  
工業薬品 } 販売  
合成樹脂 }

# 山田化成株式会社

取締役社長 山田正水

本社 〒101 東京都千代田区内神田2丁目8番4号  
TEL (03) 256-7861(代)  
名古屋出張所 〒460 名古屋市中区丸の内3丁目13番18号(サワニビル)  
TEL (052) 961-6591(代)

UL・94-V0 認定材料

自己消火性樹脂

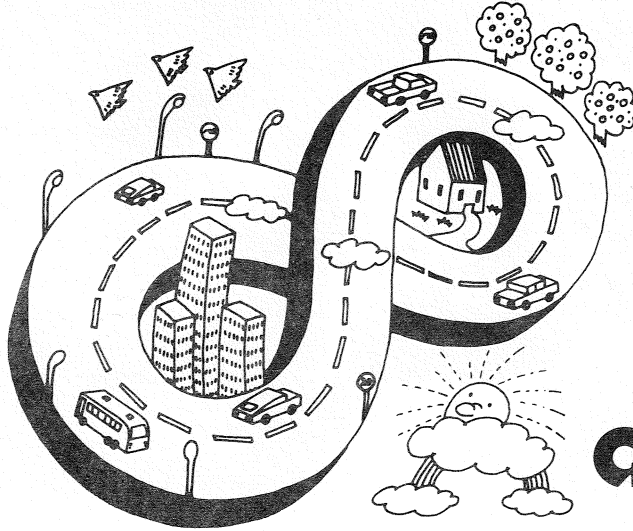
**JSR NF94**  
**JSR NC100**

日本合成ゴム株式会社 本社/東京都中央区築地2-11-24 TEL(03)541-4111・名古屋支店/TEL(052)571-1231

# 永遠の素材

ゆたかな生活環境をフワイト

パラグラス、いま20才。あらゆる生活空間に広がる限り  
ない可能性、時代のニーズに応えつつまでも…



国産無公害エネルギー“天然ガス”を原料に求め、モノマーからポリマーまで、「高品質素材の総合開発」をすすめる協和ガス化学工業。世界の五指に数えられるメタクリル一貫生産メーカーとして、“より良いもの”を求め続けています。

メタクリル樹脂・注型板

**パラグラス®**

メタクリル樹脂・押出板

**コモグラス**

メタクリル樹脂・成形材料

**パラペット®**



**協和ガス化学工業株式会社**

本社/〒103東京都中央区日本橋3-8-2新日本橋ビル☎(03)277-3174  
大阪事務所☎(06)345-3901/名古屋営業所☎(052)951-6396  
福岡営業所☎(092)711-1530/仙台営業所☎(0222)66-1525



**生きてる素材。**  
三菱レイヨンのプラスチック

メタクリル樹脂/板状品

**アクリライト®**

メタクリル樹脂/射出成形材料

**アクリペット®**

ABS樹脂

**ダイヤペット® ABS**



**三菱レイヨン**

東京(272)4321/大阪(202)2241/名古屋(561)6711



**リス**のプラスチック



# 今、新しい テーブルウェアの たび だち 出発。

ノーブル(英語)とは“高貴”という意味、その名にふさわしいテーブルウェアとして、リスの一貫したデザインポリシーから生まれたメタクリル樹脂の最高級品です。

**NOBLE**  
ノーブル

## 岐阜プラスチック工業株式会社

本社 岐阜市神田町9丁目25(大岐阜ビル6F) TEL<0582>65-2233(代)  
稲羽工場 岐阜県各務原市前渡東町3620 TEL<0583>86-9311(代)  
支店 東京・大阪・名古屋・福岡 営業所 高松・広島・仙台・札幌・宇都宮